



かけはし インタビュー

市議会×水海道染色村きぬの染
代表 石山 修

市議会(以下議会)

「水海道染色村きぬの染」とはどのような団体ですか。

代表石山氏(以下石山氏)

東京在住の染色家が理想の創作環境を求めて、1961年常総市(旧水海道市)に染色村を作りました。そして、母体となるブランドとして、2006年に「水海道染色村きぬの染」の名称で茨城県指定の郷土工芸品に認定されました。現在は5名の職人が在籍して、友禪染・ローケツ染・江戸小紋・刺繍・染などの手作業で白生地から一点の着物や帯などを制作しています。

議会

染色家を目指したきっかけについて教えてください。

石山氏

※インダストリアルデザイナーの兄の影響を受けて、洋画を公募展などに出品していた頃、父親の紹介で手描き染色に出会いこの世界での表現を目指しました。私は友禪染を基本に活動していますが、友禪染は絵画的要素があり、フリーハンドで自由に表現できるので、私にとっても合っていました。

議会

現在取り組んでいる活動や作品について教えてください。

石山氏

現在は、着物からファッション、照明、タペストリーのインテリア全般を制作し、国内外での個展や茨城県の主催するイベントに